



潮南在住の森濤石氏の日本画をカウナス市へ寄贈しました。



カウナス市の住宅地の一角にある杉原記念館の案内板には、日本語での表記もありました。



市役所庁舎20階から望んだリトアニア共和国首都のビリニウス市街の風景



写真の右手奥から左手前にある道路が「杉原通り」で、道路沿いはまだ未利用地が多くありました。

呈しました。副市長からカウナス市民の目にとまりやすい場所に飾りたいというお礼があった後、市の広報官からカウナス市のプレゼンテーションがありました。

続いて訪れたのは故杉原千畝氏が当時の日本政府の命令に背いてユダヤ人避難民に「命のビザ」を発給した旧日本領事館。住宅地の一角にあり今は杉原ハウス（杉原記念館）として氏の遺品やビザを書き続けた机と椅子が展示されていました。2階には日本文化研究所の事務所兼会議室となっており、カウナスの若い人たちが杉原氏や日本文化の研究する場になっていました。

午後からはビリニウス市役所への表敬訪問があり、午後1時頃カウナスに別れを告げ、再びビリニウスに向かいました。カウナスとビリニウスは高速道路を使って2時間ほどで結んでいますが、あいにく道路が渋滞していたため予定の時間から30分ほど到着が遅れてしまいました。

ビリニウスは首都のある街だけあって市役所庁舎は20階建ての高層ビルで、私たち訪問団はビリニウス市街が一望できる最上階の会議室に案内されました。到着が遅れたにもかかわらず市長はスケジュールを空けて待っていただき、温かい歓迎の言葉をいただきました。カウナス市役所と同じくビリニウス市役所へも森濤石氏の日本画を贈呈しました。

#### 〔第4日目〕

リトアニアに滞在して4日目の朝を迎えました。今日の最初の視察地は、ビリニウスの郊外で北西約30Kmにあるケルナヴェです。ケルナヴェはリトアニア最古の首都とされる遺跡で、ネリス川河岸に広がる丘陵地帯です。こんもりとした小高い丘とその先には

平原が広がり、とてもどかで何ともいえない美しい景色が広がっていました。現在は文化保護区に指定され、ユネスコの世界文化遺産にも登録されています。

ケルナヴェ視察の後は再びビリニウスに戻り、「杉原通り」に向かいました。道路幅員は10mを越す広い通りで、起点付近には自動車修理販売店や工場らしき建物があり、その向かいの民家の住所表示には日本語で「杉原千畝3」と書かれていました。道路沿いにはまだまだ未利用の土地が多くあり今後の開発が期待されました。

午後からは「杉原千畝サクラ公園」を視察しました。市内のネリス川沿いにあるその公園は、広々とした芝生広場に100本余の桜が植樹され、早稲田大学から寄贈された杉原千畝氏顕彰記念碑や広島市の原爆爆心地付近にあった路面電車の敷石で造られた「ひろしま祈りの石」などがありました。リトアニアは日本に比べて気温が低いことから植樹された桜の幹はまだ細く高さも低いままでしたが、春にはたくさんの花を付けるということでした。

サクラ公園を視察した後、午後2時半に明石美代子氏が全権大使を務めるリトアニア日本大使館を全員で表敬訪問しました。大使館は旧市街から外れた閑静な地区にあり周りには各国の大使館が並んでいました。建物は体育館のような半円形の屋根で3階建てになっていました。セキュリティも厳しく玄関には金属探知機が備えられていました。案内されたのは20畳ほどの部屋で、訪問団全員が入ると少し窮屈でしたが円陣に座って大使と懇談をしました。訪問団からの質問にも答えていただきながら懇談は約1時間半に亘り、